

赤十字 NOW

千葉 | May 2016 Vol. 34

▶ 発行所 / 日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812



成田赤十字病院を出発する医療救護班

平成28年 熊本地震に対する 日本赤十字社千葉県支部の対応 ～災害対策本部支援要員と医療救護班を派遣～



千葉県支部では、4月14日の発災当初から直ちに出動できる体制を整え、熊本県内の地震被災地に対し、医師・看護師・薬剤師等からなる医療救護班(2班)と災害対策本部要員、熊本赤十字病院の診療支援要員を派遣しました。

CONTENTS May.2016 vol.34

2 あなたが支える赤十字活動
・赤十字はみなさまの寄付による活動資金(社資)に
支えられています

3 4 【特集】赤十字とともに、
苦しんでいる人を救う

5 災害救護体制の
充実・強化

6 熊本地震に対する
日本赤十字社の対応

あなたが支える赤十字活動

～赤十字はみなさまの寄付による活動資金(社資)に支えられています～

赤十字事業の推進につきましては、日頃から皆さまのご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

日本赤十字社では、5月を「赤十字運動月間」として、広く県民の皆さまに赤十字思想や活動の普及を行うとともに、「人道」という赤十字の理念に共感していただいた皆さまに活動資金のご協力をお願いしております。

平成28年度も「人間のいのちと健康、尊厳を守る」という使命のもと、県民の皆さまが安心して暮らせる地域を目指して、さまざまな活動を推進して参りますので、ご支援・ご協力をよろしくお願いたします。

[収入]

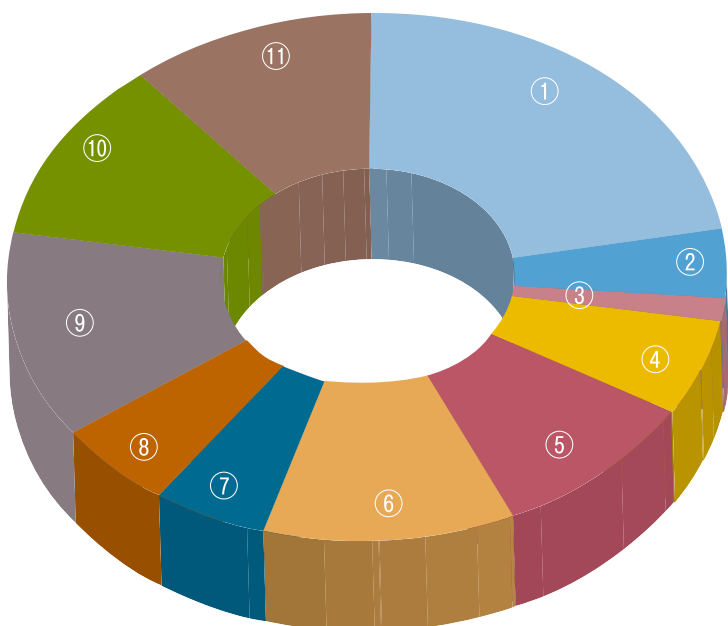
■ご協力をお願いする金額	620,000千円
■その他雑収入(補装具製作収入ほか)	117,734千円
■収入合計	737,734千円

[支出]

事業・活動費 合計 737,734千円

①災害救護体制の充実・強化に	164,220千円
②健康・安全のための知識と技術の普及	43,157千円
③国際活動の充実	5,397千円
④義肢製作所の運営	58,040千円
⑤地域における赤十字活動	75,200千円
⑥業務管理に	79,068千円
⑦赤十字奉仕団による活動	30,188千円
⑧青少年赤十字の活動	31,590千円
⑨赤十字精神と社旨の普及	92,126千円
⑩全国的な赤十字事業、活動に	81,750千円
⑪各事業共通管理運営に	76,998千円

【平成28年度予算額】



義肢製作所での義足製作



イベントにおける救急法体験



救護班における災害救護訓練

赤十字活動は、皆さまの温かいご支援により支えられています。赤十字活動資金にご協力をお願いいたします。

**ボランティアに興味がある!救急法を受講したい!義肢製作所を見たい!
CSRを取り入れよう!など、お問い合わせは下記まで**

【お問合せ先】

日本赤十字社千葉県支部

Tel043-241-7531(代表)
(平日9:00~17:30)

Mail : info@chiba.jrc.or.jp

HP : http://www.chiba.jrc.or.jp/



赤十字とともに、苦しんでいる人を救う

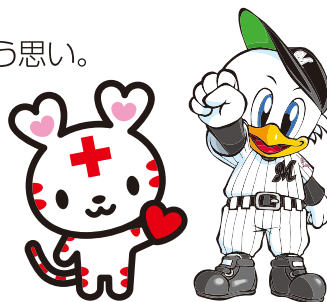
誰の心のなかにもある「苦しんでいる人を救いたい」という思い。

災害で苦しむ人を支えるために、

地域福祉の向上のために、大切な人を守るために。

「人間のいのちと健康、尊厳を守る」

赤十字の活動に参加してみませんか？



千葉ロッテマリーンズは、
日本赤十字社の活動
を応援します。

マーくん
©C.L.M.

ボランティアとして活動する

地域に根付いて活動する



災害時には炊出しを行い、あたたかな食事を届ける



学校での福祉体験に協力する

特技を活かして活動する



水の事故から命を守る着衣泳に協力する



患者さんに心のやすらぎを提供する

千葉県内には、約 9,600 名の赤十字ボランティアがいます。
地域で炊出しを行ったり、献血の呼びかけを行ったり、
資格を活かして、各種行事での臨時救護活動を行ったり、
語学力を活かして、外国人のために医療機関での通訳を行ったり。
草の根レベルのネットワークを活かして、県内各地で活動を行っています。

県内の9つのボランティアグループ(奉仕団)

地域奉仕団
青年奉仕団
安全奉仕団

看護奉仕団
語学奉仕団
成田赤十字病院ボランティア会

特殊救護奉仕団
安全水泳奉仕団
青少年赤十字賛助奉仕団

災害で苦しんでいる人を支える

「困っている人の役に立ちたい」

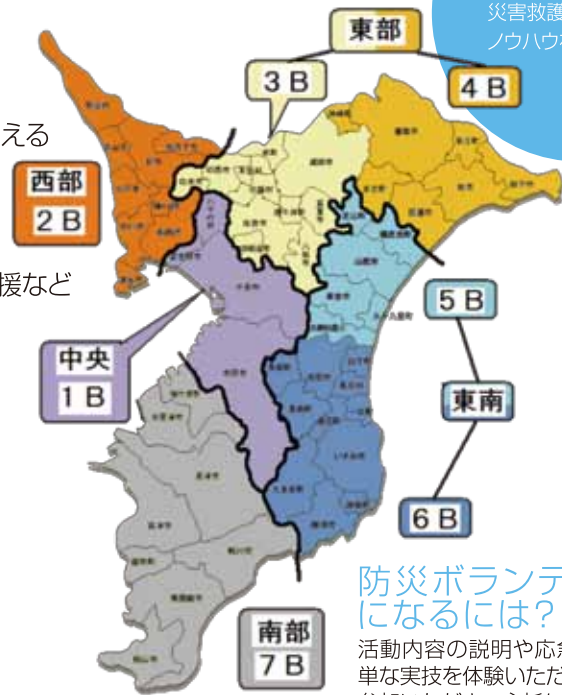
災害時には、多くの団体や一般市民の方々がボランティア活動に参加します。

赤十字では、地震や台風など、もしものときに被災者を支える「防災ボランティア」の養成を行っています。

被災者の方々がいち早く元の生活を取り戻せるように、災害時の情報収集や応急手当、非常食の炊出し、安否調査、救援物資の搬送・配分、避難所での被災者支援など赤十字だからこそできる活動に参加してみませんか？



けが人を担架で救護所まで搬送（災害救護訓練）



防災ボランティアになるには？

活動内容の説明や応急手当などの簡単な実技を体験いただける説明会にご参加いただき、主旨にご賛同された方に登録いただいています。

大切な人を助ける技術を学ぶ

目の前で人が倒れたら、あなたは声をかけることができますか？

赤十字では、各種講習会を通じ、けがや病気にならない生活や、災害や事故から身を守る方法、けが人や急病人を正しく救助する方法など、医師や救急隊に引き継ぐまでの間にわたしたちができる救命手当・応急手当を行うための知識と技術を学ぶことができます。

5つの講習会

救急法 幼児安全法
健康生活支援講習
水上安全法 雪上安全法



世界赤十字デーにおける救急法体験

自治会や学校、会社など各種団体へ指導員の派遣を行っています。開催者のご希望（時間・内容・会場・人数）に合わせて講習会を開催することができます。



障がい者福祉への理解を深める

千葉県支部には日本赤十字社のなかで唯一の義肢製作所があります。手足を失った方が元の形態や機能を復元するために使用する義肢や機能障害の軽減を目的として使用する装具を製作しています。当製作所では、障がい者福祉への理解促進のため、体験学習や見学を随時受け付けています。



一般の方も見学いただけます

県民のみなさまに、安心を届けるために… 平成28年度も引き続き、災害救護体制の充実・強化を図ります!

千葉県支部の救護体制

▽救護班

千葉県支部では、7名(医師1、看護師長1、看護師2、主事2、薬剤師1) からなる救護班を成田赤十字病院に12個班、千葉県赤十字血液センターに2個班常備し、災害発生時には、直ちに被災地へ派遣する体制を整えています。

▽救援物資の配備

県内9カ所に日本赤十字社千葉県支部が管理する災害救援物資備蓄倉庫(千葉市、船橋市、成田市、市川市、木更津市、茂原市、旭市、南房総市、柏市)を整備するとともに、県内市町村の日本赤十字社窓口(地区・分区)が管理する災害救援物資等保管倉庫(42市町村45棟)による救援物資の備蓄体制を確保しています。



災害救援物資の備蓄状況
(支部拠点倉庫 9カ所合計)



毛	布	31,320枚
敷	布	4,400枚
ガーゼ	セット	4,780枚
日用品	セット	2,990組
バスタオル		5,300枚
収納袋		300枚
布団	セット	50セット
緊急	セット	1,494組
安眠	セット	1,565組

(平成28年3月現在)



熊本市南地区にて巡回診療を行う成田赤十字病院の医療救護班員

熊本地震活動報告

4月14日に熊本県で発生した地震災害に対して、日本赤十字社では、全国から医療救護班を熊本に派遣し、救護活動を展開しています。(5月10日現在延べ140班を派遣)



現地災害対策本部でのミーティングを終え、各活動現場へ向かう救護員



熊本赤十字病院から避難所へ出発する特殊医療救護車両



救急搬送された患者に対応する熊本赤十字病院



救援物資を緊急搬送する救護員



支援の打ち合わせをする赤十字防災ボランティア